

「伊香保ナビ」について

渋川地区観光特別宣伝協議会
(一般社団法人渋川伊香保温泉観光協会内)

1. 「伊香保ナビ」サービス開始までの経緯

伊香保温泉は、旧く「万葉集」にその名が残る歴史の深い温泉地です。365段ある石段が温泉街のシンボルであり、石段の両側には温泉旅館、みやげ物屋、遊技場（射的・弓道）、飲食店などが軒を連ねており、情緒あるこの界限は「石段街」と呼ばれています。石段の下にある黄金の湯の源泉では、小間口と言われる引湯口から各旅館に分湯されています。石段の上には伊香保神社が建座しています。



しかし、この温泉の象徴とも言える石段は、高齢者や車いす利用者など移動制約者から見れば、まち歩きのパリアとなつて、伊香保温泉の情緒溢れる温泉まち歩きの楽しみや感動を共有できません。紙ベースの「まち歩きマップ」を発行しているものの、特に高齢者や車イス利用者及び補助者にとって必要な詳細情報がとれず、まち歩きを楽しむことができない現状にあります。



これまで伊香保温泉では、多くの旅館が館内のバリアフリー化を進めてきましたが、街全体で見ると、坂と石段が多く、移動制約者への対応は十分とはいえません。そこで、バリアフリー化にとって大きなマイナスとみられてきた「坂と石段」という資源を逆手にとって、他では決して味わえない坂と石段のまち歩きを、移動制約者にこそ楽しんでもらえる街づくりが課題となっていました。

また一方で、伊香保温泉ではインバウンド観光（外国人観光客の誘客）の振興も課題になっていますが、多言語による情報発信や誘導サインの整備は遅れています。

このような中、国土交通省より渋川地区が、「平成24年度ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援システムに関する現地事業」実施箇所の選定を受け、伊香保温泉地区を対象として移動制約者や外国人向けの歩行者移動支援システムを構築してきました。これを「伊香保ナビ」と命名し、平成25年1月10日（火）から試験運用を開始し、同年3月1日より本格運用を始めます。

2. 「伊香保ナビ」システムの概要とサービス内容

(1) システムの概要

伊香保温泉は、坂や石段のまち歩きを経験することの難しかった高齢者や車イス利用者など移動制約来湯者に、まち歩きの感動や発見の楽しさを提供していきます。また、多言語対応を進めることで、外国人が気軽に訪れることのできる温泉街づくりを進めていきます。

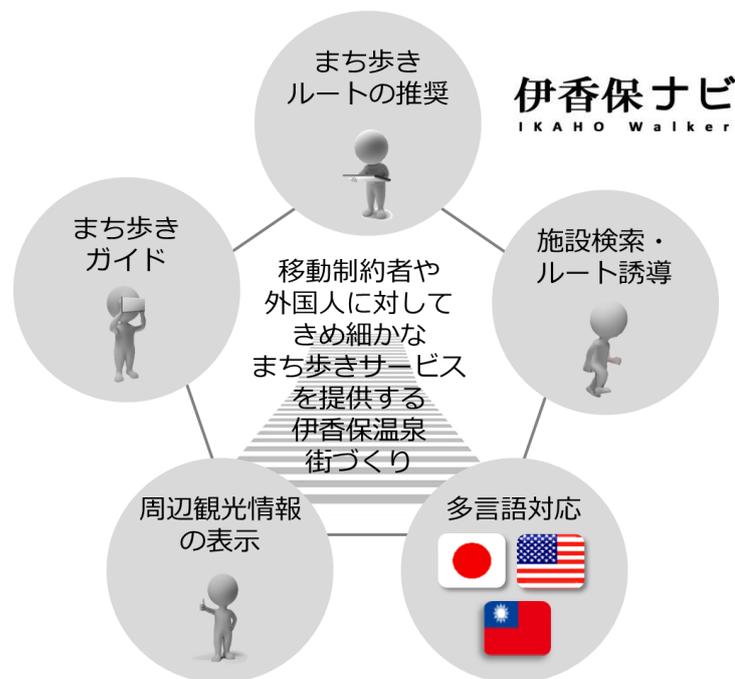
そこで、新たなシステムにおいては、移動制約者や外国人に対して、スマートフォン等を活用したきめの細かい「まち歩きサービス」を提供していきます。

まず、利用者属性や、旅の目的、散策時間など一人ひとりの観光ニーズにあった「まち歩きルートの推奨」を行います。移動制約者の場合、通行注意箇所を避けた専用ルートを複数推奨します。

ルートを選択すると、次に地図画面・ARカメラ画面・音声で「まち歩きガイド」します。画面上のアイコンやエアタグをタップすると施設詳細画面を表れ「周辺観光情報の表示」を行います。

一方で、目的の施設が決まっている場合、「施設検索及びルート誘導」機能を使って、選んだ施設まで誘導します。この際、移動制約者が移動条件を入力することで、推奨するルートを選択するという機能を設けています。

こうしたサービスを、日本語のみならず、中国語（繁体）、英語でも表示する「多言語対応」を行っています。



(2) 技術的な仕様の概要

1) 本システムは、普及が進むスマートフォンで利用できます。 아이폰とアンドロイドの主要端末に対応しているため、多くのユーザーがこのサービスを利用できます。

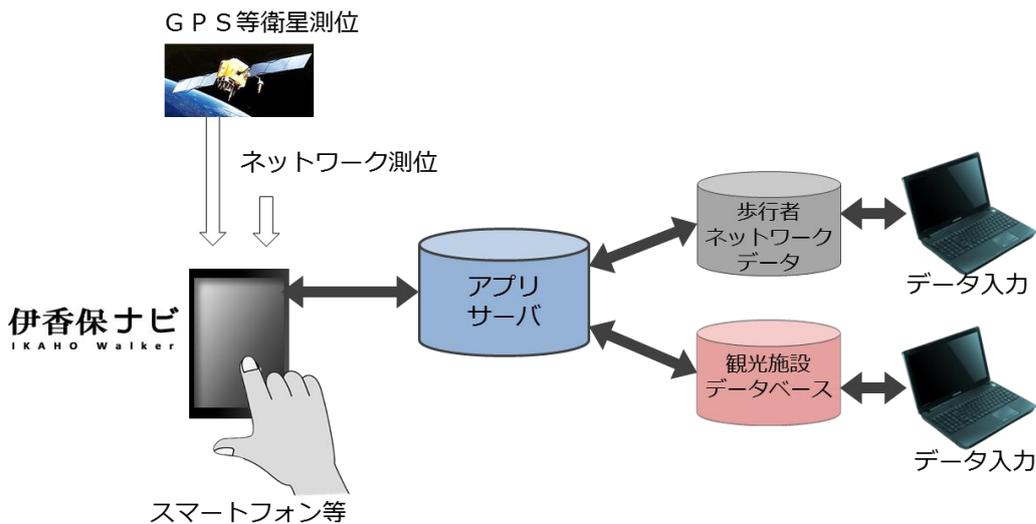
対象機種等 Android OS 2.3 以上、解像度 480×480 以上 (タブレット含む)

ios 4.3 以降、iPhone4 /4S、5、iPad

2) 移動制約者が安全・快適に移動できるよう、歩行空間の通行注意箇所や主要な観光施設等のバリアフリー現況、縦横断勾配や最小幅員を現地調査して、歩行空間ネットワークデータ (ノード数 233、リンク数 229) を構築し、これに基づいてルート検索や誘導を行います。また、観光施設データベースの施設情報は 162 で、すべて多言語 (英語と中国語 (繁体)) に対応しています。これを統合するのが空間情報統合システム「おもてナビ」エンジン (<http://omotenavi.jp/>) です。

3) 利用者所在地の測位は、衛星測位技術とネットワーク測位技術を利用します。

4) タイムリーな情報提供ができるように、ウェブブラウザにより簡単に提供情報を更新する仕組みを導入しています。プログラミング知識のない方でも容易にデータの更新・追加が可能です。



(3) 対象エリア

「伊香保ナビ」のサービス対象エリアは、階段街を中心とした伊香保温泉中心部です。また、リフト付きバスである伊香保観光バス一号線の停留所回りについても対象としています。歩行空間ネットワークデータの作成についても、このエリアについて、バリアフリー状況や段差・勾配、通行注意箇所等の現地調査を行い、スムーズなルート案内ができるようにしています。

(4)「伊香保ナビ」の操作の流れ

「伊香保ナビ」は、利用方法と以下の通りです。

なお、ここに掲載している画面キャプチャー等は、あくまでイメージ画です。

1) アプリをダウンロードする

「App-Store」あるいは「Google-play」で、「伊香保ナビ」を検索し、お使いのスマートフォンにダウンロードします。伊香保ナビのアイコンをタップして起動します。最初の「トップ画面」から、様々な操作を行います。なお、ダウンロード開始は平成 25 年 1 月 10 日の予定です。



2) 言語を選択する

「言語ボタン」を押して、使用する言語を選択します。日本語の他に、英語、中国語（繁体）が用意されています。



3) 行きたい施設まで歩く

「伊香保事典ボタン」を押すと、施設検索ができます。施設名やカテゴリを入れて施設検索を行い、歩行条件を入れると利用者に目的施設までの最適なルートを推奨します。歩行条件は移動制約者の安全を確保するために、「最小幅員」「勾配」「段差」などの概略値を入力します。「案内ボタン」を押すと案内を開始します。



4) お勧めルート歩く

「お勧めルートボタン」を押すと、旅の目的や所要時間に合わせて複数のルートが推奨されます。移動制約者に適した専用ルートも複数用意しています。その中から一つのルートを選び「案内ボタン」を押すと案内を開始します。



5) 歩きながら情報収集

案内が始まったら「地図画面」と「ARカメラ画面」を切り替えながら歩きます。地図画面では自分の現在地と周辺の施設をアイコンで表示、ARカメラ画面では周辺施設をエアタグで表示します。アイコンやエアタグをタップすると「施設詳細画面」が表れます。また、音声再生機能も付いています。



3. 「伊香保ナビ」の運用スケジュール 等

「伊香保ナビ」は、1月10日から試験運用を始めますが、ぜひ一度ダウンロードしていただき、ご意見をお寄せいただければ幸いです。その際、ご利用いただいた方にアンケート調査をお願いしています。

試験運用終了後は、この結果を反映し、システムの改良やコンテンツの充実を図りながら、3月1日より本格運用を始め、春の行楽シーズンに向けて継続的な運用に結びつけていきます。

その際、地元の関係団体と協力しながら協議会で運用を続けていくことを想定しています。さらに、渋川市内の隣接地区や、隣接地域との連携・拡大を視野に入れてサービス提供エリアの拡大を目指します。加えて、掲載施設からの広告費の取得により維持管理費を捻出するようなビジネスモデルについても検討していきたいと考えています。

お問い合わせ窓口	<p>渋川地区観光特別宣伝協議会 (一般社団法人 渋川伊香保温泉観光協会) 〒377-0102 群馬県渋川市伊香保町 541-4</p> <p>課長 <small>いとう のぶあき</small> 伊藤 信明</p> <p>電話 0279-72-3151 Fax 0279-72-4452 メールアドレス n-ito@po.wind.ne.jp</p>
----------	---